

『作品選集2020』掲載作品募集について

『作品選集2020』への発表作品を募集します。作品選集の刊行は、1989年に始まり、日本における建築作品の発表の場として、国内外より高い評価を受けており、本会の最も重要な事業のひとつとなっております。作品選集掲載作品のうちから特に優れた作品を「作品選奨」として選考し表彰します。また、2019年4月1日時点で40歳未満の作品選集掲載作品の筆頭設計者を「作品選集新人賞」として表彰します。会員諸氏の作品選集への積極的な応募を望みます。

各申込書は下記のホームページをご利用ください。

応募申込書

<http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2019/sakuhin2020.pdf>

新人賞申込書

<https://www.aij.or.jp/jpn/transaction/design/shinjin.pdf>

「作品選集」に関するFAQ

<https://www.aij.or.jp/jpn/transaction/design/FAQ.pdf>

入会手続きに関する注意

<https://www.aij.or.jp/jpn/transaction/design/admission.pdf>

募集要領

1 目的

本会の目的に照らし、建築に関する総合的な観点から高い水準を有する建築作品を広く会員より募集し、選考の結果、採択された作品の概要を毎年1回刊行される「建築雑誌増刊作品選集」に掲載して、会員に紹介することにより、優れた建築作品の発表の場を作り、これらの作品の記録に役立てるとともに、会員の制作活動の向上に資することを目的とする。

2 募集対象

本会会員により設計され、2015年8月1日から2018年7月末日までに竣工した建築作品で、建築規模、用途は問わない。
建築作品には、住宅設計、修景設計、広場設計、団地設計等、都市

デザイン的な領域をも広く含むものとする。

3 応募資格

応募は、主たる設計者が全員個人会員であることとする。なお、主たる設計者とは実際に設計に携わった者であり、作品への貢献が最も高いと認められる者および作品の内容に共同の責任を負える者全員とする。なお、応募受付後の主たる設計者の追加・削除・順番変更はいかなる理由でも認めない。詳細は「論文・作品の発表の場におけるピアレビューに関する倫理規程」(<http://www.aij.or.jp/jpn/guide/rinri.pdf>)を参照のこと。

4 応募の件数

制限は設けない。

5 選考の資料

- 1 所定の応募申込書6部
用途については<https://www.aij.or.jp/jpn/transaction/design/yoto.pdf>を参照
- 2 新人賞対象者のみ、所定の申込書を提出すること。3部
- 3 現地交通案内概略図6部
(掲載時の巻末地図、現地審査資料として使用)
- 4 原稿(見開き2頁以内に、設計主旨(英文は空欄でもよい)と図面・写真を割り付けたもの)3部
原稿の体裁は「原稿執筆要領(抜粋)」(<http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2019/sakuhinstyle.pdf>)を参照して作成する。カラーコピーも可。
- 5 図面(配置、平面、立面、断面、構法や仕上げがわかるもの(矩計図等)、その他設計主旨を補足する図面、縮尺は適宜)。大きさはA4判以内。
- 6 写真(キャビネ判以上)20枚以内。カラーコピーも可。周辺環境がわかるものを含むこと。
- 7 各階面積等基本データ
- 8 検査済証のコピー(建築)を提出のこと。確認申請不要物件は、不要理由を明記した文書を提出のこと。

検査済証ではなく仮使用認定通知書等を提出する場合、理由書(竣工日をどのように扱っているか等を記載したもの)を必ず提出すること。理由書がない場合は審査対象外となる。

- 9 主たる設計者が複数の場合は、それぞれの設計者が応募作品にどう関与したかを明記した資料を提出すること(主たる設計者はその応募作品に主として関与した関係者のあいだで了解が得られていること)。設計者の資格に関しては内容を問い合わせることがある。
 - 10 およそ1万分の1地図(作品の所在地を明示したもの)。海外作品はこれに準ずる地図。コピー可。
 - 11(データのみ) 応募作品および設計者に関する情報について、所定Excelに入力し、CD-ROM等におさめること。
Excelのダウンロード先⇒<https://www.aij.or.jp/jpn/transaction/design/Sheet.xls>
上記1～10をA4判クリアブック1冊(たて使い)に番号順ごとに取めて提出のこと。別途、上記1～11の電子データ(1はテキストデータが抽出可能なPDF)をCD-ROM等(表面に作品名記入)におさめて提出すること。また、選考の必要上さらに詳細な資料の提出を求められることがある。海外作品については、プロジェクトの背景とその解決について明快なコンセプトを示すこと。
- ### 6 応募期間
- 2019年4月12日(金)から5月10日(金)17:00までに必着のこと。
- ### 7 提出先
- 応募作品の所在地を所轄する本会各支部の事務局、海外作品については本部の事務局とする。応募作品を提出する支部が違う場合は、選考から外れるので十分注意すること。
例) 応募作品の所在地が福岡県の場合、九州支部へ資料を提出する。
- ### 8 選考方法
- 1 各支部に提出された応募作品のうちから、各支部に設置された支部選考部会が作品選集委員会に推薦する作品を決定する。選考は上記資料に一部現地視察(応募の際には必ず施主の了解を得ること)を加えて行う。
 - 2 海外作品については、海外作品選考部会が作品選集委員会に推薦する作品を決定する。
 - 3 各支部選考部会ならびに海外作品選考部会によって推薦された作品のうちから、作品選集委員会が作品選

集に掲載する作品を決定する。
4……………選考結果は10月上旬までに応募者に通知する。

9 選考基準

建築の学術・技術・芸術面での調和のとれた進歩、発展を目的とする本会の立場から、採択される作品は下記の諸点において、本会が刊行する作品選集に掲載されるにふさわしい水準を持つべきものとする。

- 1……………計画、構造、環境・設備および材料・工法技術に関する設計の論理性
 - 2……………社会性、歴史性、文化性から見た地域環境への適合性
 - 3……………外部空間、内部空間の両面における造形
 - 4……………設計全般にわたってのオリジナリティ
 - 5……………地球環境保全に対する配慮および建築物のライフサイクルに対する取り組み
- 以上の側面から見て優れた作品であること。また個別部分に際立って優れた部分のある作品であること。

10 掲載原稿

作品選集に掲載が決まった作品は、採用通知に記載する期日までに下記の掲載原稿を作成し、本部事務局に提出する。執筆要領等詳細は掲載決定通知とともに送付する。

- 1……………設計主旨(英文併記)
- 2……………建築概要(作品名、設計者名、所在地等、基本データには英文併記のこと。なお、設計者名は応募申込書の主たる設計者(記載順も含む)から変更不可となっているので注意すること)
- 3……………図面(そのまま版下となる明瞭なもの)
- 4……………写真(画像データまたはカラーの場合はポジフィルム。写真の著作権処理は応募者の責任とする)
- 5……………作品データ

11 作品選集の発行

建築雑誌増刊号として2020年3月に発行の予定。
各作品は、見開き2ページに、設計主旨、建築概要、図面、写真、ならびに選評を収める。

12 応募料・掲載料

- 1……………応募料
応募者は応募料として1作品につき10,000円を応募と同時に支部窓口、現金書留、または銀行振込で応募支部に納入する。現金書留には応募申込書のコピーを必ず同封する。銀行振込の場合は振込要領(<http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2019/oub>

oryou2020.pdf)にしたがって送金する。

- 2……………掲載料
作品選集に掲載が決まった場合は、1作品につき50,000円を掲載料として掲載原稿とともに本部に納入する。納入方法は別途通知する。

13 著作権

- 1……………掲載作品の著作権は応募者に帰属するものとし、本会は編集出版権をもつ。
- 2……………複写権、翻訳権を本会に委託するものとする。
- 3……………本会は、掲載作品を電子形態によって公開できる。
- 4……………著作権の侵害等の問題は応募者がすべての責任を負う。
作品選集は電子形態によって公開されることを前提に、写真等について他者の著作権を侵害しないように十分注意する。

14 ウェブサイトによる公開

- 1……………作品選集は本会および本会が許諾したウェブサイトから全ページが公開される。
- 2……………公開にあたり、本会は応募者の許諾をとることによって掲載ページの写真・図面等を無償で利用することができる。

15 賞対象

- 1……………作品選奨
掲載作品は、「2020年日本建築学会作品選奨」の候補となる。ただし、海外作品は除く。
作品選奨を受賞する場合、対象となる主たる設計者(筆頭設計者もしくは筆頭設計者と同等と認められる者)には、応募申込書の応募者の「賞対象者」欄に○印を、それ以外は×印をつけること。現地審査対象となった場合は現地審査にて、作品選奨対象者としてふさわしいかどうかの審査も行う。応募後の賞対象者の変更は原則として認めない。
- 2……………作品選集新人賞
応募年(2019年)の4月1日時点で40歳未満の作品選集掲載作品の筆頭設計者を「作品選集新人賞」として表彰する。ただし、すでに新人賞を受けたことのある者、また過去に学会賞(作品)または作品選奨を受賞した者は除く。また、新人賞は作品選集掲載決定後、当該作品を本誌以外に掲載する際(すでに刊行された書籍は除く)、設計者の記載順位を変更しないことを条件としているため、了承したうえで申込書を提出すること。
応募作品が支部選考において現地

視察対象となった場合、対象者は必ず立会うことを条件とする。

※ 詳細については所定の申込書参照

16 その他

- 1……………所定の応募申込書は、本会ホームページよりダウンロードして使用する。
- 2……………応募資料、掲載原稿の作成費は自己負担とする。
- 3……………応募資料、掲載原稿の図面・写真は返却する。ただし、作品選集に掲載が決まった作品の応募資料は、作品選奨の審査が終了するまで返却しない。
- 4……………学会賞(作品)への応募は応募者が別途行う。

17 各支部所在地および所轄都道府県一覧

- 北海道支部(北海道)
〒060-0004 札幌市中央区北4条西3丁目1 北海道建設会館6階
TEL011-219-0702
- 東北支部(青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県)
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-5-15 日本生命仙台勾当台南ビル4階
TEL022-265-3404
- 関東支部(茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県)
〒108-8414 港区芝5-26-20 建築会館
TEL03-3456-2050
- 東海支部(静岡県・岐阜県・愛知県・三重県)
〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル9階
TEL052-201-3088
- 北陸支部(新潟県・富山県・石川県・福井県・長野県)
〒920-0863 金沢市玉川町15-1 パークサイドビル3階
TEL076-220-5566
- 近畿支部(滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県)
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター内
TEL06-6443-0538
- 中国支部(鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県)
〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5階 広島県建築士会内
TEL082-243-6605
- 四国支部(徳島県・香川県・愛媛県・高知県)
〒782-0003 香美市土佐山田町宮

ノ口185
高知工科大学地域連携棟201
TEL0887-53-4858
九州支部(福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県)
〒810-0001 福岡市中央区天神4-7-11
クリアビル5階
TEL092-406-2416

18

作品選集委員会

*印の退任委員の後任は、2019年6月までに決定

1.....作品選集委員会

委員長 赤松佳珠子*
幹事 田名網雅人* 安原幹
 鱒坂徹 伊藤孝紀
 今井公太郎 岩本弘光
 荻原廣高 小篠隆生
 貝島桃代* 熊澤栄二
 トム・ヘネガン* 永井拓生
 中田千彦 新居照和
 藤村龍至*

2.....支部選考部会

北海道 小篠隆生 菊田弘輝

東北

小谷卓司 田川正毅
前田芳伸 真境名達哉
中田千彦 齋藤和哉
高谷時彦 平塚勝
三浦哲 山岸吉弘
尹莊植

関東

今井公太郎 榎木靖倫*
大浴佳治 大和田淳
河内一泰 田口晃
塚田修大 中島裕輔
藤本裕之 鉾岩崇
峯田建 安田俊也

東海

山中新太郎 依田博基
伊藤孝紀 栗原健太郎
鈴木雄一郎 富田昌志
長谷川寛 松井智哉
吉田賢吾

北陸

熊澤栄二 高嶋猛
寺内美紀子 棒田恵

近畿

光田章 宮下智裕
三輪康一 勝山太郎
佐々木栄 末包伸吾
中村文紀 原田哲夫

中国

福原和則 山浦晋弘
岩本弘光 岡河貢
岡松道雄 小川晋一
村上徹

四国

新居照和 安藤雅人
佐藤昌平 松澤敏明

九州

鱒坂徹 大西康伸
清水耕一郎 妹尾賢二
田中俊彰 田上健一
中村裕文 西村謙司
前田慎 山田由香里

3.....海外作品選考部会

部会長 田名網雅人*
幹事 安原幹 貝島桃代*
 荻原廣高 永井拓生
 トム・ヘネガン*

(敬称略)

19

問合せ(本部)

日本建築学会事務局
作品選集担当:内野/朝香
〒108-8414 東京都港区芝5-26-20
TEL03-3456-2017

日本建築学会会員優待割引制度

本会では、会員向けにホテル・レンタカー・文具・美術館等の各種優待サービスが受けられる制度を設けております。
詳細は本会ホームページをご覧ください。



問合せ
日本建築学会総務グループ
TEL 03-3456-2016

詳細 <http://www.aij.or.jp/jpn/hall/yutai/yutai2.htm>